

環境政策 環境にやさしい循環型社会が営まれるまちをめざす

【環境政策の目標】〔総合的目標〕

環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費を抑制し、排出された廃棄物の適正な処理を進めるとともに、資源化などの先進的な環境技術の導入やごみの発生・排出抑制につながる市民、事業者、市の各主体の環境配慮行動を促すことで、都市の利便性や活気を保ちつつ、環境にできる限り負荷をかけない循環型社会の実現をめざします。

環境要素		環境要素の目標
資源・廃棄物		環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費が抑制され、排出された廃棄物の適正な処理が進められていること
環境項目	環境項目の目標	指標
資源・廃棄物	環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費が抑制され、排出された廃棄物の適正な処理が進められていること	<input type="checkbox"/> ごみ焼却量 <input type="checkbox"/> 市民一人一日当たりのごみ排出量 <input type="checkbox"/> 資源化量 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物排出量 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物再生利用率

総合的な評価に用いる指標

施策の方向	指標	総合的な評価に用いるもの
Ⅱ-1 一般廃棄物対策の推進	ごみ焼却量	○
	市民一人一日当たりのごみ排出量	○
	資源化量	○
Ⅱ-2 産業廃棄物対策等の推進	産業廃棄物排出量	○
	産業廃棄物再生利用率	○
	産業廃棄物最終処分量	○

施策の方向 Ⅱ-1 一般廃棄物対策の推進

指標	目標・現状・指標がめざす方向
ごみ焼却量	【目標】2013年度までに37万トン（※） 【現状】420,517トン（2009年度） 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
上記目標の達成に向けて、次の点に留意するものとする。	
市民一人一日当たりのごみ排出量	【目標】2013年度までに1,128g（※） 【現状】1,069g（2009年度） 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
資源化量	【目標】2015年度までに20万トン（資源化率35%）（※） 【現状】129,351トン、23.5%（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

※ 「川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」に基づく目標数値

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：ごみ焼却量 ・401,893トン（対前年度：10,819トン減少、対基準値：多い）	1	2
■指標：市民一人一日当たりのごみ排出量 ・1,044g（既に目標達成）	3	
■指標：資源化量 ・144,685トン（資源化率26.5%）（対前年度：16,021トン増加、対基準値：少ない）	1	

現 状

2003（平成15）～2011（平成23）年度のごみ焼却量等の実績

年度	2003 基本計画 基準値※1	2007 前行動計画 基準値※2	2008	2009	2010	2011	
日数	366	366	365	365	365	366	
人口（人）※3	1,293,618	1,369,443	1,390,270	1,409,558	1,425,678	1,430,773	
焼却ごみ(t)	500,954	449,776	428,225	420,517	412,712	401,893	
内訳	家庭系 焼却ごみ	371,367	309,169	303,309	300,212	296,368	278,553
	普通ごみ	355,396	301,468	289,213	293,313	289,213	270,732
	粗大・小物金属 可燃分	15,971	7,701	7,155	6,899	7,155	7,821
	事業系 焼却ごみ	128,400	139,880	124,278	119,719	115,829	122,899
	道路清掃ごみ	1,187	727	638	586	515	441
資源化量(t)※4	118,223	140,468	134,725	129,351	128,664	144,685	
資源化率(%)	19.1%	23.8%	23.9%	23.5%	23.8%	26.5%	
内訳	粗大・小物金属 資源化分	7,313	4,178	3,730	3,732	3,785	4,004
	空き缶	8,306	7,890	7,543	7,420	7,327	7,312
	空き瓶	11,859	10,966	11,013	10,930	10,969	11,577
	ペットボトル	2,485	4,662	4,586	4,655	4,872	5,167
	ミックスパーパー		269	1,157	1,172	1,865	10,618
	プラ製容器包装					269	3,896
	資源集団回収	51,237	54,446	50,854	47,547	46,767	48,361
	その他※5	670	394	369	360	342	301
事業系資源化物	36,354	57,663	55,473	53,535	52,468	53,449	
乾電池(t)	290	255	249	247	272	295	
総排出量(t)※6	619,467	590,499	563,199	550,115	541,648	546,873	
1人1日当たり ごみ排出量(g)※7	1,308	1,178	1,110	1,069	1,041	1,044	

※1 川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）

※2 川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）の前行動計画（2009～2013年度）

※3 人口は、各年度10月1日現在の人口に基づきます。

※4 資源化量とは、資源集団回収（古紙・ダンボール等）、市分別収集（空き缶・空きびん・ペットボトル・小物金属・ミックスペーパー・プラスチック製容器包装、粗大ごみ）、事業系資源化物、その他を含めて算出したものです。

※5 その他とは、生ごみ資源化物及び自主回収等の合計値です。

※6 総排出量＝焼却ごみ＋資源化量＋乾電池

※7 1人1日当たりごみ排出量とは、一般家庭（家庭系焼却ごみ・家庭系資源物）、事業者（事業系焼却ごみ・事業系資源化物（事業活動に伴い出される資源物））、その他（道路清掃ごみ）の合計を人口及び年間日数（うるう年の場合は366日）で除したものです。

■ごみ焼却量

市内の一般廃棄物の排出量は、ごみ非常事態宣言を行った1990年度をピークに減少し、2011年度の市内総焼却量は、401,893トンで、前年度に比べて10,819トン、2.6%の減少となりました。

その内訳を見ると、家庭系ごみは278,553トンで、前年度に比べて6%減少し、事業系ごみは122,899トンで、前年度に比べて6%増加しました。

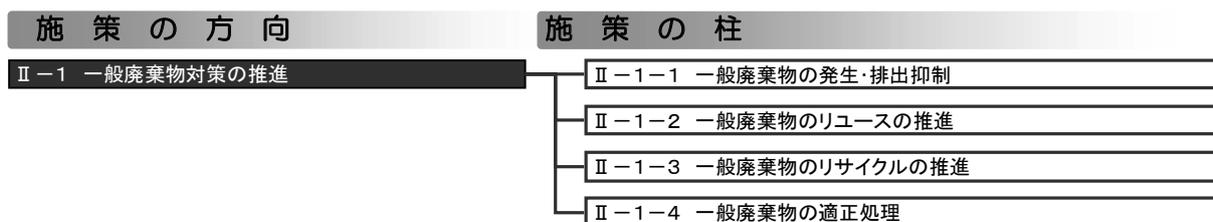
■市民一人一日当たりのごみ排出量

2011年度の事業系ごみを含めた市民一人一日当たりの一般廃棄物排出量は1,044gで、前年度の1,041gに比べ0.3%増加しました。

■資源化量

2011年度の一般廃棄物の総排出量は546,873トンでした。これらのうち144,685トンは、資源集団回収（古紙・段ボール等）、市分別収集（空き缶、空き瓶、ペットボトル、小物金属、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装、粗大ごみ）、事業系資源物（梱包材・段ボール等）、その他（生ごみリサイクル）の資源化量として算出しています。401,893トンは処理センターで焼却処理し、残灰（保管分を除く）は浮島2期埋立地*51に埋立処分しています。

具体的施策事業の概要



II-1-1 一般廃棄物の発生・排出抑制

II-1-1-1 ごみをつくらないライフスタイルの普及

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
一般廃棄物処理基本計画におけるごみ減量化施策の推進 〔環：廃棄物政策担当〕	・一般廃棄物処理計画の運用 ・家庭系のごみダイエット・チェックシートの作成・活用	・一般廃棄物処理基本計画における行動計画の改定 ・継続実施
エコバックや簡易包装の普及の促進 〔環：地球環境推進室〕	川崎市地球温暖化防止活動推進センタープロジェクト（グリーンコンシューマーグループ）による取組の実施	継続実施
地域における廃棄物減量指導員制度の充実	□廃棄物減量指導員数：1,840名 ・市連絡協議会開催：3回	継続実施

*51 浮島2期埋立地：ごみ焼却灰等の新たな埋立処分地として、川崎市浮島町523番地1地先で都市施設廃棄物を主として埋立処分を行っている。面積は約16.8ha。

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
[環：減量推進課]	・各区連絡協議会開催：19回 ・市・区施設見学会：10回	
廃棄物処理事業に関する副読本の小学校・中学校への配布等によるごみ減量意識の普及啓発の実施 [環：減量推進課]	配布部数：13,700冊（1977年度から実施、対象：小学校・中学校）	継続実施
出前ごみスクール等の実施 [環：減量推進課]	出前ごみスクール：119回 ふれあい出張講座：84回	継続実施
家庭のごみダイエット・チェックシートの普及 [環：廃棄物政策担当]	・一般廃棄物処理計画の運用 ・家庭系のごみダイエット・チェックシートの作成・活用	・継続実施 ・家庭系のごみダイエット・チェックシートの活用
施策の効果分析手法による点検・評価 [環：廃棄物政策担当]	施策の評価手法による点検・評価の実施	継続実施

II-1-1-2 ごみをつくらない事業活動の確立

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
リサイクルエコショップの認定と利用の促進 [環：減量推進課]	総認定数：400店舗 （1商店街を含む）	認定数：10件、10店舗
事業系ごみの減量化・再資源化施策の推進（多量排出事業者等の減量等計画書の提出による減量・資源化の指導の実施） [環：減量推進課]	・多量排出事業者への指導：367事業者（-10事業者） ・準多量排出事業者への指導：1,113事業者（-1事業者）	・多量排出事業者（375事業者）への減量・資源化等の指導 ・準多量排出事業者（1,116事業者）への減量・資源化等の指導

II-1-1-3 ごみをつくらない社会経済システムへの変革

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
循環型社会形成推進基本法等のリサイクル関連法に基づく、排出者責任及び拡大生産者責任の徹底に向けた取組の促進 [環：廃棄物政策担当]	九都県市廃棄物検討委員会による「容器包装ダイエット宣言」による取組の実施	継続実施
ごみの減量に有効な、経済的手法の調査・研究の実施 [環：廃棄物政策担当]	経済的手法等による抑制策についての調査・研究	継続実施
費用対効果の分析による、ごみ処理経費の低減方策の検討 [環：廃棄物政策担当]	収集・処理に関する効率性・効果的な施策の推進に向けた検討	引き続き検討を行う。

II-1-2 一般廃棄物のリユース推進

II-1-2-1 物を大切にするライフスタイルの普及

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
粗大ごみ再生品の利用の促進 [環：減量推進課]	□展示数 粗大ごみ再利用品の展示・抽選 ・展示数：720個	継続実施
橋リサイクルコミュニティセンター等を拠点とした再使用・再生利用活動の促進 [環：減量推進課]	□取組状況（活動名、開催回数、参加者数） ・古着のリフォーム教室：11回開催、計92人 ・牛乳パック工作教室：11回開催、計105人 ・廃木材の木工教室：12回開催、計92人	継続実施

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
	<ul style="list-style-type: none"> ・余り布の小物教室：12回開催、計95人 ・エコぞうり教室：34回開催、計166人 ・卓上機による裂き織り教室：12回開催、計114人 ・石けん教室：8回開催、計470人 ・紙すき教室：7回開催、計467人 ・季節の風物詩教室：3回開催、計325人 ・川崎市現況報告会：17回開催、計529人 ・ごみ分別学習会：17回開催、計529人 	
フリーマーケット等の開催と再利用促進のための自主的活動の啓発の推進 [環：減量推進課]	<input type="checkbox"/> 開催数、参加店舗数 <input checked="" type="checkbox"/> フリーマーケット：1回開催 参加店舗：44店舗 <input checked="" type="checkbox"/> 学習会、講演会等の開催 石けんづくり、紙すき等の学習会、リサイクル講演会、施設見学会等	継続実施
リサイクルエコショップの認定と利用の促進 [環：減量推進課]	【Ⅱ-1-1-2 施策参照】	【Ⅱ-1-1-2 施策参照】

Ⅱ-1-3 一般廃棄物リサイクルの推進

Ⅱ-1-3-1 分別等の拡充

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
容器包装リサイクル法等に基づく分別収集拡充による資源化の促進 [環：収集計画課] [環：廃棄物政策担当]	<input type="checkbox"/> 分別収集量(回収量) <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶：7,312トン/年(-15トン) ・空きびん：11,577トン/年(+608トン) ・小物金属：2,635トン/年 (+306トン) ・古紙：98トン/年(-8トン) ・使用済み乾電池：295トン/年(+23トン) ・ペットボトル：5,167トン/年 (+295トン) ・ミックスペーパー：10,618トン/年(+8,753トン) ・プラスチック製容器包装：3,896トン/年(+3,627トン) <input checked="" type="checkbox"/> 拡充施策 <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパー分別収集の全市実施 ・プラスチック製容器包装分別収集の南部3区（川崎区・幸区・中原区）先行実施 	<input type="checkbox"/> 分別収集予定量 <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶：7,283トン/年 ・空きびん：11,054トン/年 ・小物金属：2,525トン/年 ・古紙：125トン/年 ・使用済み乾電池：275トン/年 ・ペットボトル：5,087トン/年 ・ミックスペーパー：18,641トン/年 ・プラスチック製容器包装：6,384トン
資源集団回収事業（協力団体への奨励金、回収事業者への報償金の交付等）の充実 [環：減量推進課]	<input type="checkbox"/> 協力団体数 <input checked="" type="checkbox"/> 町内会等実施団体：1,258団体 (+61団体) <ul style="list-style-type: none"> ・回収量：48,260トン/年 (回収量累計：992,226トン) ・奨励金：3円/kg <input checked="" type="checkbox"/> 回収業者：105業者 <ul style="list-style-type: none"> ・回収量：46,188トン/年 (回収量累計：919,446トン) ・報償金：1円/kg 	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 町内会等実施団体 <ul style="list-style-type: none"> ・回収量：63,000トン/年 <input checked="" type="checkbox"/> 回収業者 <ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 協議会、研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会：3～4回、研修会1回

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
	◇協議会、研修会の開催 協議会：4回、研修会 1回	
正しい分別収集についての普及啓発の推進 [環：減量推進課]	□普及啓発資料の作成数 ・ごみと資源物の分け方・出し方 ：950,000部（保存版100,000部 概要版850,000部） ・年末年始対策ポスター：53,800 枚 ・年末年始対策リーフレット：58,400 枚 ・外国人向けリーフレット：8,500 枚 ・ごみ収集車用広報テープ：221本 □ミックス・プラ分別収集啓発資料の 作成数 ・ミックス・プラ啓発チラシ： 157,000枚 ・集積所表示ボード：21,500枚 ・啓発ポスター：11,000枚 □講演、キャンペーンの実施数 ・3R推進講演会の開催 1回 ・ごみゼロキャンペーンの実施 等	□継続実施 ・普及啓発資料の作成 ・講演、キャンペーンの実施 □ミックスペーパー・プラスチック製 容器包装分別収集の協力度の向上に むけた普及啓発
地域における廃棄物減量指導員制 度の充実 [環：減量推進課]	【Ⅱ-1-1-1 施策参照】	【Ⅱ-1-1-1 施策参照】
廃蛍光管リサイクルに向けた拠点 回収の実施 [環：廃棄物政策担当]	拠点回収の通年実施化 回収量 約1トン	継続実施
コンポスト化容器及び生ごみ処理 機等の購入助成の推進 [環：減量推進課]	□助成基数 ◇コンポスト化容器 助成基数：24基（設置基数累計：5,488 基） 助成額：購入金額の2分の1 （上限2万円） ◇電動生ごみ処理機等 助成基数：105基（設置基数累計：2,450 基） 助成額：購入金額の2分の1 （上限2万円） □生ごみリサイクルプランの推進	◇生ごみ処理機等（コンポスト化容器 含む） 助成基数：270基程度 助成額：購入金額の2分の1 （上限2万円） □生ごみリサイクルプランの推進

Ⅱ-1-3-2 事業系ごみの資源化の促進

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
商店街等における廃棄物（事業系 廃棄物）の分別の徹底 [環：減量推進課]	事業系一般廃棄物の許可業者収集に移行 していない事業者に対し、移行の指導を 実施	継続実施

Ⅱ-1-3-3 環境産業との連携

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
分別収集、リサイクルの拡充に向 けた市内環境関連事業者との情報 交換 [環：廃棄物政策担当]	情報交換会の開催（1回）	継続実施

II-1-4 一般廃棄物の適正処理

II-1-4-1 環境負荷の低減に努めた適正処理

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
一般廃棄物処理施設の排ガス、排水、焼却灰等の適正管理による環境負荷の低減 [環：処理計画課]	□汚染物質の排出基準値の遵守状況 ごみ焼却施設に適用される法令に基づき、測定を行い、各種基準値を遵守していることを確認している。	・薬剤等により有害ガス等の除去を引き続き実施
市の埋立地における適正な埋立処分の実施 [環：処理計画課]	□排水に含まれる汚染物質の排出基準値の遵守状況 埋立地に適用される法令に基づき、測定を行い、基準値を遵守していることを確認している。	薬剤等により排水中の汚染物質等の除去を引き続き実施
ごみ処理施設のISO14001規格の自己適合維持による環境負荷の低減 [環：処理計画課]	◇自己適合宣言の維持（適合監査） 浮島処理センター、堤根処理センター、橋処理センター（2011年10～12月に実施）	◇自己適合宣言の維持（適合監査） 浮島処理センター、堤根処理センター、橋処理センターで実施 ◇王禅寺処理センター稼動に伴うシステム等の構築
廃棄物鉄道輸送事業の継続実施 [環：処理計画課]	□輸送量 ◇鉄道輸送年間実績量（前年度差） ・一般ごみ：21,896.55トン （-2,037.35トン） ・空き缶・ペットボトル：1,221.67トン （+40.37トン） ・空き瓶：3,364.02トン （+261.92トン） ・ミックスペーパー：4,990.85トン （+4,201.46トン） ・焼却灰：21,604.51トン （-4,763.95トン） ◇年間輸送日数：307日	□計画 ◇鉄道輸送年間計画量 ・一般ごみ：26,890トン ・空き缶・ペットボトル：1,372トン ・空き瓶：3,129トン ・ミックスペーパー：6,917トン ・焼却灰：20,945トン

II-1-4-2 ごみ処理施設等の整備

具体的施策名	2011（平成23）年度実績	2012（平成24）年度計画等
資源化処理施設を併設したリサイクルパークあさお整備事業の推進 [環：施設建設課]	◇取組状況 ・ごみ焼却処理施設の完成 ・資源化処理施設建設工事及び王禅寺処理センター解体撤去工事の着手 ◇計画施設 ・ごみ焼却処理施設（150トン×3炉） ・資源化処理施設	◇取組状況 ・資源化処理施設建設工事及び王禅寺処理センター解体撤去工事 ◇計画施設 ・資源化処理施設（空き缶20t/日・空き瓶25t/日・ペットボトル12.5t/日・粗大ごみ40t/日）
ごみ処理施設における環境に配慮した施設建設と整備の推進 [環：施設整備課] [環：施設建設課]	□浮島処理センター基幹的施設整備継続実施 □処理センター整備事業 ・3焼却処理施設体制の構築に向け、新たな焼却処置施設の基本計画の検討	□浮島処理センター基幹的施設整備継続実施 □堤根処理センター基幹的施設整備着手 □橋処理センター整備事業 ・橋処理センター基本計画及び環境配慮計画書の着手